

外科の腹腔鏡下手術のご案内

当院では、従来からの開腹手術に加え、患者さんへの侵襲性が低く、要望も寄せられていました腹腔鏡下手術の更なる充実を図るため、5月に当手術に必要な機器一式を追加整備し、症例を増やしています。今回は、当院で行っている外科の腹腔鏡下手術をご紹介します。

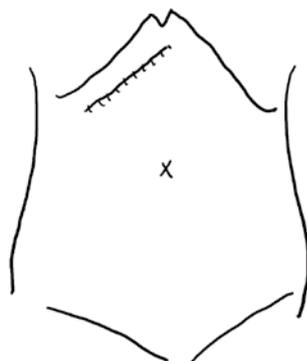


腹腔鏡下手術時の写真

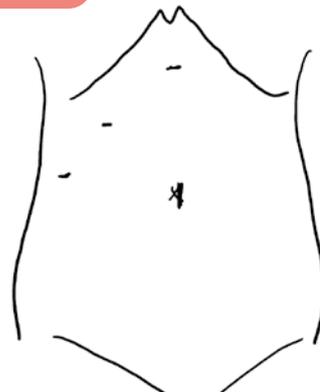
胆石症、胆嚢炎について

胆石症、胆嚢炎に対しては、1990年に日本で初めて腹腔鏡下の胆嚢摘出術が行われましたが、当院でも1992年に開始し、それ以降症例を重ね、現在では標準的治療法として実施しています。従来の開腹術と比べて非常に小さな創で済むため、患者さんの術後の痛みが少ないことから回復が早いことが一番の長所です。したがって入院期間も短く(胆嚢摘出術の場合は2~3日で退院)、早期の仕事復帰が可能です。

胆石症の創



開腹時



腹腔鏡下手術

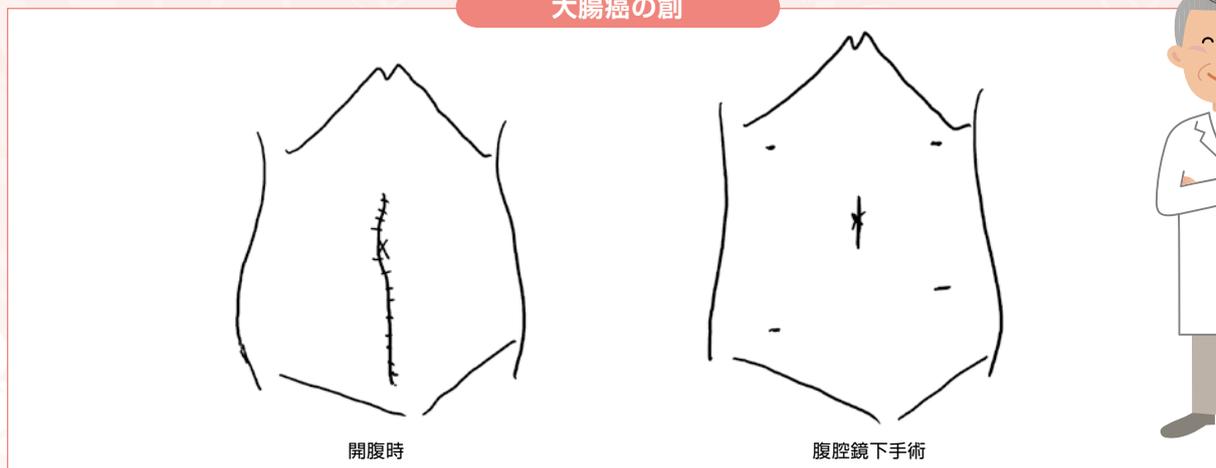


大腸癌について

大腸癌(結腸癌や直腸癌)は、ごく早期の癌であれば、内視鏡による切除のみで治療が完了しますが、ある程度進行した癌の場合、従来は開腹手術が行われていました。しかし近年、大腸癌に対しても腹腔鏡下手術が広く行われるようになりました。その理由は、大腸癌に対しても、保険の適応が認められており、また早期癌のみならず進行癌に対しても長期成績が従来の開腹術に劣らないことが報告されたからです。

この手術は、専用の高性能カメラからの拡大した鮮明な画像を見ながら行うため、従来の開腹手術では見えにくかった部位や細かい血管・神経まで見えて繊細な手術操作が可能です。腹腔内で操作を終えたあと最後に病変を4~5cmの切開創からお腹の外に取り出します。創が小さいため、術後の疼痛も少なく早期の退院、社会復帰ができるようになりました。当院でも大腸癌に対する腹腔鏡下の大腸切除を行っており、良好な結果を得ています。**初診から短期間で手術を実施していますので、他院で手術まで長時間かかるとされている方も是非ご連絡ください。また、開腹手術が必要と言われた方もご相談いただければ、腹腔鏡下手術が可能か検討いたします。**

大腸癌の創



■外来診療体制 (平成29年10月1日現在)

【外科】 竹田、皆川、穴見 (胸腔鏡手術)、片平、山本、安城、小川

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
担 当 医	あじろ よしのり 安城 芳紀	みながわ まさみ 皆川 正己	みながわ まさみ 皆川 正己	おがわ はるき 小川 悠樹	やまもと まさき 山本 雅樹
	かたひら せいichろう 片平 誠一郎	たけだ やすし 竹田 泰	かたひら せいichろう 片平 誠一郎 (血管外科外来)	たけだ やすし 竹田 泰	たけだ やすし 竹田 泰
		あなみ よういち 穴見 洋一 (呼吸器外科外来)			
受付時間	8:15 ~ 11:00				

■ご紹介について

事前のご予約をお勧めいたします。診察のご予約は希望日の前日15:00まで承ります。なお、直接ご来院される場合は、受付時間内に総合受付「①番窓口」にて受付手続きを行ってください。

■ご予約・お問い合わせ

地域医療連携室 ※月~金曜日8:15~17:00
電話: 03-3742-7129 (直通) FAX: 03-3742-7314 (直通)